

『モビリティ・マネジメント教育にはじめて取組んでみて

「わたしたちの小平市」～地域の交通について考えよう～の実践(第3学年)』

【小平市立小平第十二小学校長 木田明男】

モビリティ・マネジメント教育とは？というところから本校の取組は始まった。

社会科の学習指導要領の第3学年及び第4学年の目標と内容に関連して小平市内の交通の様子を、学校近隣のバス会社と連携し、見学や働く方のインタビューなどを通し、交通には自分たちの市と他の近隣市をつないでいる大切な役割があることを学ばせたいと考えた。またバスの工夫（つり革や停車ボタン、座席、支払いの工夫など）やバス会社の工夫（時刻表、環境対策、安全対策など）を学ぶことで、働く人の思いや願いについてもふれられるよう学習を工夫することとした。大まかな指導の流れは次の通りである。



- ①バス（地域の公共交通）の役割を考える。
- ②バスの営業所を見学し、地域の交通の拠点になっていることを理解する。
- ③営業所見学でわかったこと、さらに知りたいことを共有し合う。
- ④バスの営業所の方の話を聞き、安全に運行する工夫や、環境対策について理解する。
- ⑤見学学習を通して学んだことを壁新聞にまとめる。

さらに発展学習として総合的な学習の時間に位置づけて「エコなくらし」～乗り物からエコを考えようの学習を次のように行う予定である。

- ①様々な乗り物のCO₂の排出量について関心をもつ。
- ②自分や家族が利用する乗り物を出し合い、それぞれの「よさや不便なところ」を考える。
- ③バスト鉄道の環境への取組を学ぶ。
- ④エコモ環境ブックで学習のまとめをし、さらに自分の調べたいことを見つける。
- ⑤⑥自分の課題について探求し、まとめる。

※予想される課題の具体的な例

- ・バス車両の工夫
- ・バス会社の環境への取組
- ・バスや電車を利用する良さ
- ・バスや電車をいかしたエコなくらし
- ・乗り物を変えて環境によい生活を！など

- ⑦学習したことを発表し合う。

この学習では先に社会科で行った交通、そこで働く人々の思いや工夫についての学習を活用し、自分の家族の利用する乗り物から環境についての課題を見つけ、考えを深めエコを意識した生活を考えられるようにしたい。 (協力 西武バス小平営業所)